

ライオンズクラブ国際協会333-C地区
2023-2024年度ガバナーズローガン

紡つむごう ライオンズハート
心豊かに We Serve



地区ガバナー

L 北野 淳子



はじめに

創設107年目を迎える世界最大の奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」

その歴史と伝統に培われた豊饒なライオンズ精神は多くの実を結び、国や地域に添ったさまざまな形での「奉仕活動」という成果を世界に発揮してきました。

2023-2024年度の国際会長パティ・ヒルは、知的でありながら親しみやすいお人柄でカナダのご出身です。国際会長としては二人目の女性会長となります。ヒル会長が掲げる「Changing the World」のローガンは「小さな社会奉仕を一つ行つたに、私たちは変化に一つ近づきます。はじめの一步を踏み出すかどうかは、自分次第です。雨水がバケツを満たすように、私たちはほんのひと雫ずつであっても、世界を変えられます」という前向きなメッセージを表しています。

2023-2024年度
パティ・ヒル 国際会長スローガン

Changing the World

私はパティ・ヒル会長の話を聴講し学びを深めるにつれ、この期に地区ガバナーを務めることができる巡り合わせに深い意義を感じるようになりました。また同時に、責務の重さも実感しました。

この思いを携え、女性ならではの視点も取り入れながら、思いやりと優しさ、感謝の気持ちを大切に333-C地区第43代ガバナーとして、この一年、皆さまと共に歩んでまいります。

地区ガバナー基本方針

ガバナーズローガン

いつの時代にも「人が人を思いやる心」は変わりません。

「受け継がれてきたライオンズの心、そして皆さまの心を、未来に」を縦糸に

「今ここにある皆さまの心、結びつきを、より広くより深く」を横糸に

『紡つむごうライオンズハート

心豊かに We Serve』

チャレンジ+ONEを合言葉に

Afterコロナとなりつつある今、一歩踏み出し前へ進んで行く、そんな1年にしたいと思っています。

そこで、各クラブまた地区運営においてもチャレンジ+ONEを合言葉に掲げALL333-C地区のパワーを結集し、未来へと進んでまいります。

各クラブにおいて

クラブが主役

具体的にはクラブ主体のアクティビティの有用性を再認識し、そこに多角的で新しい視点を加えた企画を検討していただくことで、活性化に繋がっていきたいと思います。

そのために2つの参加型イベントを企画しています。

1

333-C地区フォーラム

『奉仕で笑顔』

2023年11月11日開催

子どもの未来、小児がん支援などで「今、ライオンズクラブに求められていることは何か」を考え、クラブのアクティビティに活かすことを目的に、テーマごとのショートセッション講演会を行います。同時に環境委員会を中心に家庭や会社で眠る物品の回収を行い、地区としてのまとまった支援につなげます。

を今期スローガンといたします。

ライオンズハートという言葉に「奉仕の心」「友愛の心」「信頼の心」「謙虚な心」「熟慮の心」「飛躍の心」「結束の心」……などたくさん思いを込めました。

それぞれが立ち位置を定めながら、縦の糸、横の糸を一緒に紡ぎ、織りなしていきましょう。



北野地区ガバナーを囲んで、2023-2024年度地区コーディネーター
地区GLTコーディネーター L飯島 直也(夷隅・後列右)
地区GMTコーディネーター L山下大二郎(成田グリーン・後列左)
地区GSTコーディネーター L館 里枝(浦安中央・前列右)
地区SCP・FWTコーディネーター L仁木 弥生(柏なの花・前列左)
地区GETコーディネーター L栗原周一郎(我孫子・後列右から2人目)

2

チャレンジ+ONE

コンテスト「初春の集い」

2024年1月31日開催

これまで「できそうだけど考えつかなかった斬新なアクティビティ」「DREAM PLAN」を募り、企画発表会形式のコンテストを行います。どのクラブでもチャレンジできる広範なアイデアはもとより、各クラブの特色や地域性を加味した素晴らしいご提案をぜひお寄せください。

地区運営において

7つの重点施策

各委員会でも+ONEを取り入れてまいります。

1 GMT（会員増強）

▼STOP会員減少

・各クラブ2名以上の入会者を目標にし、退会者を1名以下に

・GMA（グローバル・メンバーシップ・アプローチ※）を使った効果的な方法の実践

※チームを組んで、より戦略的に会員増強に取り組みプログラムを今期本格的にスタート

・学生会員の推奨 青少年に奉仕体験の機会を提供し、アクティビティを通じた達成感を

・女性会員比率のUP グローバル基準28%に近づける
(2023年度24%目標、2022年度22.5%、2021年度21.3%)

2 GLT（指導力育成）

▼もっとライオンズを知ろう

・地区GLTチームがリジョンへ出向き「ライオンズスクール初級編」をレクチャー

・公認ガイドインング・ライオン研修会の実施 ※現在当地区は期限切れにより保持者がおりません

・国際協会によるライオンズ学習センター「Learn」の浸透

3 GST/スペシャルティクラブ・FWT（奉仕活動）

▼会員満足度をUPしよう

・奉仕活動を基盤としたクラブの活性化

・女性目線でのきめ細やかな奉仕活動を通じた会員満足度のUP

・クラブの垣根を超えたゾーン合同アクティビティの推奨

▼GST各委員会でのチャレンジ+ONE

【献血】

献血併行型骨髄バンク推進 希望者には骨髄バンク説明員育成講座の開催

【献眼】

献眼に加え盲導犬などアイヘルス全般に目を向ける

【環境】 身近にできる環境問題の提案

【子どもの未来】

フードバンク・子ども食堂・DV・小児がんなど、子どもの未来に関すること全般に目を向ける

4 GET/スペシャルティクラブ・FWT（クラブ・支部のエクステンション）

▼新たな視点で仲間を増やそう

・クラブエクステンション1、支部3を目標に

・精力的に地域活動を行っているグループと連携し活気あるクラブ・支部を結成

・スペシャルティクラブ・FWTと連携し、女性や家族を中心としたクラブ・クラブ支部を結成

5 青少年

▼次世代の宝にしなやかな変革を授けよう

▼青少年各委員会でのチャレンジ+ONE

【ライオンズクエスト】

ワークシヨップに新たな市町村を加え、また体験の機会を幼稚園に広げること、さらなるライオンズクエストの普及に努める

【薬物乱用防止教室】

寸劇台本のリニューアル等、各クラブの活動を支援

【YCE・レオ】

停滞していた活動の本格再開に向けて動き出し、本来の形を取り戻す
※YCEは冬期の受入れから再開予定。希望家庭にはZOOMでの説明会・日常英会話レッスンをを行う

6 情報共有・テクノロジーの強化

▼もっとライオンズを発信しよう

・外部へ向けて ライオンズクラブの紹介や3331C地区HPコンテンツの充実

・内部へ向けて 工夫を凝らした例会やアクティビティなど、各クラブの活動を紹介

・地区ニュースの発行を年2回とし新たに「3331C地区ニュースレター」を配布

・MY Lionでの奉仕活動報告率の向上

7 LCIF

▼寄付についての意義をもう一度確認しよう

世界組織のライオンズクラブ会員であることを体現できるのが、LCIFです。

国際規模の大きな支援が行われており、日本にも特に災害時に多額の交付金が拠出されています。さらにシエリング交付金を申請することで地域での奉仕活動の資金を得ることができ、私たちの寄付がどのように活用され、その後どうなっていくのかの現況をお伝えし、様々な用途のご紹介をしていきます。

「社会貢献を」との皆さまの思いを託していただきたく、ご協力をお願いいたします。

最後に

クラブの一つひとつが、そして会員の皆さまお一人おひとりが、3331C地区の大切な礎です。皆さまに「3331C地区のメンバーで良かった」と思っていただけの一歩となりませう、地区ガバナーとして全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしく願います。

結びにかえて

これまでのたくさんの出会いの中で、伝統や品格を背中で見せてくださる先輩ライオンの方々からは、深い学びと多くのお知恵を頂きました。熱心にクラブ活動に打ち込む仲間からは、前に進む活力と勇気を与えて頂きました。皆さまにはあらためて謝意を申し上げますとともに、これからの一年、お力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

最後に

クラブの一つひとつが、そして会員の皆さまお一人おひとりが、3331C地区の大切な礎です。

皆さまに「3331C地区のメンバーで良かった」と思っていただけの一歩となりませう、地区ガバナーとして全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしく願います。



手書きのお祝いボードです



広い展示ホールでは 小さく見えた大きなライオンマーク



開会式での壮麗な国旗式。日本国旗に拍手!



見事なスピーチを披露する パティ・ヒル国際会長



歴代の国際会長が並ぶ前での厳粛な"宣誓式"



紙ふぶきで北野淳子地区ガバナー就任を祝うメンバー!

LCIC on 2023 Boston 105th Lions Clubs International Convention 第105回 ライオンズクラブ国際大会

2023年7月7日～11日 アメリカマサチューセッツ州 ボストン



袴(かみしも)姿で、日本のサムライ JAPANを演出

7月8日、朝からインターナショナルパレードがあり、ボストンの美しい通りを日本の伝統をイメージして500名で練り歩きました。なんとテーマは「大名行列」。將軍の衣装や毛槍持ちの奴さん衣装など、京都の東映からレンタルするほどの熱の入れよう。女性は着物、男性は袴姿で、時代劇の役者気分でした。

結果パレードは衣装効果か、二位受賞! 良い思い出になりました。7月11日閉会式では、ヒル国際会長と北野淳子ガバナーの就任式があり、皆で紙吹雪でお祝いしました。

いよいよ今年度のスタートです!



MD333地区先頭は、陣笠をかぶり奉行姿で手を振る L松本幸史



パレードを楽しんだ333-C地区のメンバーたち「やったね!」



中学校教師が一念発起し弁護士に



失敗しても必ず人生に役立つ!



弁護士という職業に興味津々



自ら考える授業

1R

浦安中央ライオンズクラブ 弁護士が講座を通して伝える 命の授業の提供を続けています! いじめ防止出前講座

ちょっとひとこと

重いテーマでもニーズがあればトライ。自分たちではできないことも、専門家に協力をいただければ実現可能に。

2016年から浦安市内9校のうちひとつの中学校の中学1年または2年の全クラスに、NPO法人「ストッパいじめナビ」より弁護士を派遣。「いじめ防止出前講座」の提供を行っています。

生徒たちは授業を通し、いじめとは何か、いじめが犯罪であること、いじめを防ぐにはどうするとよいかなど事例を通して理解を深めます。弁護士の熱い授業で生徒が変わっていく姿をみる事ができます。受講後の感想文には彼らの真剣な悩みも含まれ、ライオンズが先頭にたち子ども達を見守り続ける必要を強く感じさせる事業になっています。

文・地区GSTコーディネーター L館 里枝(浦安中央)

クラブ自慢のアクティビティ特集

新しいアクティビティで「チャレンジ+ONE」

地区ガバナー 方針である「チャレンジ+ONE」を合言葉に掲げ、スタートを切りました。コロナ禍で停滞することの多かったアクティビティ。この夏、各地域でお祭りや花火大会が4年振りに開催されています。私達ライオンズクラブのアクティビティにおいても、大切なことを復活し、未来へと継承していきましょう。



加えて新しい視点を持ち新しい時代のニーズに応え、メンバーがやりがいを持って取り組める事業を企画してみてください。クラブの活性化、メンバー皆さまの輝きに繋がればと思います。今回は地区内のクラブのアクティビティ自慢を取り上げました。新たなアクティビティ企画の一助になれば幸いです。「チャレンジ+ONE」…新たなアクティビティに挑戦してください!

地区ガバナー L北野淳子

“DREAM PLAN”企画募集中!

新しいアクティビティ“DREAM PLAN”を募集しています。企画書の作成を例会などで楽しんでください。

例えば……

CHALLENGE…これを機にやってみたかった企画にチャレンジ

ONE…現在のアクティビティをベースに新しい発想で+ONE

FIND…地域の方々の望んでいる奉仕活動を探す

どんな企画でも構いません。各クラブの特色や地域性を詰め込んだ、わくわく楽しい企画、そして「チャレンジ+ONE」から湧き上がる皆様の声をお待ちしています。

なお、皆様からの応募企画は地区内で厳正に選考後「チャレンジ+ONE コンテスト」(2024年1月31日開催予定)にて優れた企画を公開いたします。今後のアクティビティの参考にいただき、それぞれのクラブがさらなる発展をとげられることを願っております。多くのクラブからのご応募を心よりお待ちしております。

※企画書は333-C地区のウェブサイトからダウンロードできます。(ただし書式は自由に変更可)
※企画書の主な事項……企画タイトル、事業内容、奉仕の対象者、予算の検討、アピールポイントなど。

応募期限: 2023年11月30日(木)

応募先: メールで kanji@lionsclub333c.org

ファクスで fax 043-247-4756

1R

市川南ライオンズクラブ 4年ぶりにリアル開催、 優秀作品は銀座の画廊で展示 「ハート♡アート展」(ハート・ハート・アート)

市川南ライオンズクラブが行っている、障がいがある人が描いた絵画の展覧会「第7回ハート♡アート展」が5月11日〜13日に、市川市文化会館展示室にて開催されました。コロナ禍の影響で3年前は中止、直近2年はオンライン開催を余儀なくされ、リアル開催は4年ぶりとなります。

画面を通してでは作品の良さがわからないため、「間近で作品に接するリアル開催になって本当に良かった」との声が出展者から聞かれました。160作品の中から専門家、地元の識者、ライオンズ会員によって選ばれた優秀作品は、6月に東京・銀座の画廊で行われた「ハート♡アート展IN銀座」で展示されました。

文・1R地区情報テクノロジー委員 L水野 文也(市川南)



多くの人が訪れました



銀座の画廊、これまで売れた作品も!

開会セレモニー、高橋順之前地区ガバナーもテープカット



ちょっとひとこと

「障がいがある人が描いた絵画」とテーマをしばった絵画展。関係団体とコラボすれば、他地区でもできそう。



3年ぶりのリアル開催で160作品を展示

2R

流山ライオンズクラブ 老いも若きも、男性も女性も、 力を合わせ地域のためにウィ・サーブ! 災害用井戸の掘削

2021年度、流山ライオンズクラブでは、災害時にトイレ用水などに使える手掘り井戸を2基、先駆者の指導を受けながら市内の公園に掘りました。その土地の地層により掘る深さが変わるため一筋縄ではいかず、何度も心が折れそうになりました。1基目は12m、2基目は8mまで掘り進んだものを4mまで戻し、結果両方とも水の豊富な良い井戸となりました。

工期は1基目が延べ6日、2基目で7日と決して楽なアクティビティではありませんでしたが、メンバーが一丸となって掘り、完成して綺麗な水が出てきた時の達成感は何ものにも代え難いと思えました。

文・地区環境保全委員長 L大橋 和典(流山)



女性陣も奮闘!



素人でも、やる気になればできる!



完成した井戸。ガッチャンポンが活躍!



「シュボシュボ」で泥のかき出し作業



みんなで力をあわせて……団結力がものをいいます

ちょっとひとこと

その道のプロがいたから実現。クラブにいる専門家や職人に活躍していただき、あらたなアクティビティを。

2R

関宿ライオンズクラブ

優勝トロフィーを目指して！

地域の子どもたちと熱い夏を共にする

東葛親睦夏季少年野球大会

関宿ライオンズクラブでは、青少年の健全育成を目的とした少年野球大会を夏季、冬季に2回開催しています。参加するチームは地元野田市を中心に、柏市、流山市、松戸市、市川市と近隣の子どもたちも参加し、当クラブが用意したトロフィーやカップを手に入れるべく、熱気に溢れた大会となっています。

試合は勝ち抜きのトーナメント方式。日頃の練習の成果を惜しみなく発揮しようとする子どもたちの一生懸命な姿に心を打たれ、どの子にもメダルを贈りたい気持ちになります。来週はいよいよ決勝戦！

これからの地域の未来を担う青少年の健全育成に尽力してまいります。

文・関宿ライオンズクラブ 幹事 上高田 浩一



開会式。大会には8チームが参加。トーナメント方式で3日間かけて開催される



ちょっとひとこと

スポーツ大会の主催は一度頑張ってスタートさせれば、毎年恒例の大会に。地域への影響力も大きいのでは。

3R

柏さくらライオンズクラブ

柏市内の少林寺でメンバーの演奏と歌で、心休まる楽しい一時を

寺コンーお寺でコンサート



4人のハーモニーにうっとり

満席の本堂に素敵な演奏



ようこそ！少林寺アリーナへと栗原住職

ちょっとひとこと

お寺や神社を会場に。その場にふさわしいイベントだったら、檀家さんなど関係者も喜んでくれるのでは。

柏さくらライオンズクラブでは、年に一度お寺でコンサートを開催してきました。メンバーの演奏を聴きながら、共に歌い、心を躍らせ楽しい一時でした。普段、静かな本堂が、この日はかりは、住職の読経の代わりに素晴らしい演奏と歌声が響きまします。会場となる少林寺の住職と総代の私が同じクラブのメンバーであることで、会場設営等は、とてもスムーズでした。コロナ禍で中止していましたが、落ち着いてきたので、再開をしようという声が出ています。また、今期の渡辺会長は、少林寺で秋頃に早朝の座禅会を計画しているようです。各クラブのメンバーの方にもお近くのお寺、神社に関係する方が大勢いると思います。ぜひ、北野地区ガバナーが提案するチャレンジ+ONEの達成に向け、ご一考ください。

文・元地区ガバナー 上木村 英俊(柏さくら)

3R

3R合同アクティビティ

校内放送を利用して開催
全校生徒950名が参加

薬物乱用防止教室

千葉県立柏中央高等学校にて7月18日(火)、薬物乱用防止教室を開催しました。全校生徒950名を体育館に集めDVDを上映する予定でしたが、猛暑が続いているため急遽校内放送を利用して各教室での開催に変更となりました。

DVD上映の代わりに薬物についての話、「ライオンズメンバーによる心と体の健康のためのアドバース」と題し、各クラブより人生の先輩として3分間スピーチを実施しました。高校からは、「夏休みを迎える生徒たちのために、薬物の怖さ、誘惑に対する対処法、勉強の合間に行う効果的なストレス解消法、さらに物事の考え方や日々の生活で気をつけることなどを講演していただき、生徒も集中して取り組んでいた」と喜ばれました。

文・地区薬物乱用防止委員長 上杉谷 宏枝



夏休み前、熱心に薬物乱用防止を学ぶ生徒達



初志貫徹の校訓も入れて！と山崎寛雄校長

ちょっとひとこと

薬物乱用防止教室を校内放送で実施したというのは、ラジオ放送のようで、意外に効果的。



校内放送中はお静かに！スピーチに心で拍手！

3R

我孫子ライオンズクラブ

青少年育成の為の
違反広告物除去活動のススめ

違反広告物除去活動

我孫子ライオンズクラブでは、我孫子市役所都市計画課と共同で15年に亘り、違反広告物除去活動を行ってまいりました。活動内容としては、電信柱への風俗店における違反広告物の除去や通学路における不動産売買広告のポール撤去を中心に行ってまいりました。15年経った現在では、風俗店の違反広告はなくなり、青少年が安易に電話をかけ犯罪に巻き込まれる危険性は少なくなつたと感じます。また、通学路においても、児童がボールを避け車道を歩くこと減少し、交通安全の役割の一部を担えたと感じます。皆様の地域でも、アクティビティの+1の参考になれば幸いです。

文・我孫子ライオンズクラブ 会長 上井上 瞬

ちょっとひとこと

青少年のトラブルを防ぎ、犯罪から守る広告剥がしは青少年健全育成、通学路の危険を取り除き、事故から守る。



除去活動は違反広告物を見つけしだい、警告のシールを貼る

通学路に設置された不動産会社のポール



4R

千葉レスキューライオンズクラブ 市立船橋高校野球部 甲子園出場に際して クラウドファンディングを立ち上げました 実施とその効果



甲子園での市船応援団。
試合に出られない野球部
員も必死に応援



CF立ち上げ記念講演会。
蝶野正洋氏、市船野球部・
海上監督、吹奏楽部・高橋
顧問とともに

ちょっとひとこと

クラウドファンディングを利用すれば、
これまで困難と思えたことも実現可能
に。目からウロコのアクティビティ。

昨年、甲子園出場を果たした市立船橋高校野球部。市船の甲子園出場にあたり、千葉レスキューライオンズクラブでは即座にクラウドファンディング（以下「CF」と表記）を立ち上げました。余裕のある特定の方の高額の寄付に頼るのではなく、一人ひとりに少額寄付を募るCFは、一定金額の寄付を実現すること以上に応援の機運や市民意識の醸成に繋がるのではないかと考えたからです。結果として約800人の方から2百万円を超える寄付を集めることができました。

市船をはじめ公立高校の部活動運営は、予算面などで苦境に立たされています。千葉レスキューライオンズクラブは、今後も機会があればCFを立上げ公立高校の部活動運営を支援していきたいと考えています。

文・千葉レスキューライオンズクラブ 会長 L鈴木 ひろ子

5R

白井3クラブ（白井・シニア・あすなろ）合同 青少年健全育成・地域貢献を 目的とした一大イベント しろいたこあげ祭り

たこあげ祭りは、ライオンズクラブ100周年記念アクティビティで企画され、その後も白井3クラブ（白井・シニア・あすなろ）合同の青少年健全育成・地域貢献を目的とした一大イベントとして白井総合公園で開催しています。名称も「たこあげ祭り」とし、獅子舞い・パカ面踊り・白井太鼓・歌謡ショー・出店（食事・物販）、景品抽選会もあり、誰もが楽しめる白井市の冬の風物詩となりました。

事前に、市の広報・地域新聞への掲載、市内小中学校・市内幼稚園・保育園等へのチラシ配布を行い、毎回千名以上の来場者となっています。さらに、らーばんねっと・千葉TVでの動画配信、白井ライオンズクラブでのYouTube配信をしています。2017年から現在6回を数え、今後も継続してまいります。

文・白井ライオンズクラブ 会長 L長瀬 正久

ちょっとひとこと

冬の野外イベントとしては格好の凧揚げ大会。広場があればどこでもできそう。他地区でも可能性あり。



5R

八千代ライオンズクラブ 色々な団体とコラボで「まち」を ちよつとカラフルに 駅周辺花壇にバラの植栽と 日々のお手入れ



冬に植え、春には満開。時計台には市章とライオンズクラブロゴのプレートが



参加者は市長、副市長、市役所職員、まちづくり協議会、植栽指導に京成パラ園芸



2年目はロータリー外周にスカレットポニカ(赤)と商業施設横の200mにピンクダブルノックアウト(濃いピンク)の計100本を植えました



ちょっとひとこと

園芸や農業のプロ、あるいはガーデニングが趣味の方がどこのクラブにもいるのでは。花壇を維持管理するのはたいへんですが、やりがいがあります。



時計台全貌と3種の薔薇

1989年の20周年事業で、八千代台駅東口ロータリーの交差点にシンボルとなる時計台を市に寄贈、周囲には市の木「ツツジ」の植栽がされました。時を経てツツジは古木となり抜けた所にはゴミ袋が放置されることも。50周年事業の時計台リニューアルの翌年に元気なツツジは残しつつ、市の花「薔薇」を30本植栽しました。翌年は駅周辺花壇に135本、本年は西口のロータリー等に90本を植栽しました。毎週土曜日早朝の手入れ、水やりは特に夏は毎日で大変ですが、四季咲きの薔薇はいつも咲きほこり、まちにカラフルな彩りを添え、通る人の笑顔をいただいております。

文・5R地区情報テクノロジー委員 L阿部 晃枝(八千代)

5R

八千代中央ライオンズクラブ 治療を頑張る子どもたち・ご家族 ボランティアをしている方々を応援しよう 小児がんの子どもたちと その家族と一緒にバーベキュー



ちょっとひとこと

小児がんへの関心が高まっています。
あらたな企画も今年度たちあがっています。

八千代中央ライオンズクラブでは、初めての試みとして2023年3月に「ミルフィーユ」の方々をお招きして、バーベキューをしました。当日が雨の予報で不参加となった家族もいましたが、小児がん経験者・家族・JAH A(日本動物病院協会)ボランティアとセラピー犬・医療関係者などのミルフィーユ関係者と我々の50名で本当に楽しい時間を過ごしました。ライオンズクラブから、焼きそば、フランクフルト、焼きマッシュマロ等を提供しました。アニマルセラピーで活躍している、ふわふわの毛並みの大きなビレネー犬「ラテ」と触れ合い、入院中の子どもたちの心のケア、小児がんの現状などをお聞きし、今後の奉仕活動の参考となりました。

※ミルフィーユ小児がんボランティアズ略称ミルフィーユは小児がんの患者とその家族を支援するNPO法人です。

文・八千代中央ライオンズクラブ L辰巳 百恵

5R

八千代・八千代中央ライオンズクラブ合同

「子どもの未来を応援」

親が笑顔になれば子どもも笑顔に

「子育てひとりで悩まないで」ステッカー



市長を訪問し、趣旨の説明とステッカーを謹呈しました

八千代市子ども部部長と各クラブ会長と

児童虐待防止は取り組みにくいテーマですが、相談窓口をお知らせするQRコード付きステッカー作成というアイデアは参考になります。



市長を訪問し、趣旨の説明とステッカーを謹呈しました

八千代市子ども部部長と各クラブ会長と

文・5R地区情報テクノロジー委員 L阿部 晃枝(八千代)

昨年度の333-C地区子どもの未来応援事業に鑑みて、八千代市子ども部に市内の現状や要望をヒアリングしたところ、子育ての相談にのってくれるダイヤルがあることを、まじの店舗などでふっと目にするこ

とができるのとよいのではないか?というニーズが浮かび上がりました。

人気が高い八千代市のゆるキャラ「やっち」で目をひきやすく、簡単にアクセスできるQRコードを付け、負担にならないよう再剥離素材にするなどの工夫をしたステッカーを作成。

民間の事業所や店舗、また公共施設に貼っていただく活動をしました。

千葉ゆうきのライオンズクラブ

映画観賞をチャリティーに

チャリティー上映会

23回も続けてきた恒例のチャリティーディナーショーが、コロナの影響で開催できず、感染リスクを抑えた新規事業が、マスク着用で映画観賞をする「チャリティー上映会」でした。

監督自身の両親を撮り続けたドキュメンタリー映画「ボケますからよろしくお願ひします」は、笑いあり涙ありで、認知症、夫婦愛、老々介護への理解と、親への想いがあふれた作品。

「続編があるなら、ぜひ見たい!」との要望に応え、5か月後に続編の上映会を開催。会員の学園内ホールを借りられたので、会場費が抑えられ、金銭アクティビティを達成。4年ぶりに会員の笑顔が揃いました。

文・地区情報テクノロジー副委員長 L橋本 文子(千葉ゆうきの)

ディナーショーの代案として開催。これが多くの観客を呼ぶヒットとなり、金銭アクティビティを達成。



4年ぶりの集合写真に、ちよつぱりみんなすまし顔



大型スクリーンに会長を投影しつつご挨拶

6R

7R

市原さくらライオンズクラブ

病院(白血病の患者さん)に ケア帽子(タオル帽子)を贈呈

白血病の患者さんにケア帽子を



みんなで和やかに帽子づくり

できあがった色とりどりのケア帽子



ちよつとひとこと

女性クラブならではの、趣味や特技をいかして取り組んだアクティビティ。患者と製作者、双方の笑顔が見えそう。

白血病など血液の病気にかかり、抗がん剤が投与されると、副作用で髪が抜けて入院治療の間はほとんど髪のない状態になります。患者さんは、大変な不安やストレスを感じますが、そのうえ免疫力が低下するため、風邪をひきやすくなります。そんな時、柔らかくて暖かくカラフルなケア帽子で笑顔になつてほしいと思います、この活動を始めました。

千葉骨髄バンク推進連絡会の西島一恵さんに作り方のご指導をいただき、それぞれ家で少しずつ作っています。贈呈先の病院からも心温まるお礼状をいただき、この温かいお言葉を励みにこれからも続けてゆきたいと思っています。

文・市原さくらライオンズクラブ L竹下 悦子

6R

千葉若潮ライオンズクラブ

不登校は我儘が原因ではなく環境を用意する取り組み

「フリースクール」のサポート



子どもたちが企画した夏祭りにて、流しそうめん

ちよつとひとこと
自然いっぱいの場所でのびのびとすごせる場所を提供する。これも青少年健全育成につながるアクティビティ。



緑に囲まれた環境は気温が2度くらい低く感じられます

小学生、中学生の学校へ行けない子どもたち。そして他人の子と比較してしまう親たち、その抱える悩みは百人百様です。現在行っている奉仕活動は、私が運営する「グレイスの森」というキャンプ場を月1回、無料開放し、我がクラブにてクリスマスケークや文房具などを差し入れています。集団行動に馴染めず、引きこもる子どもや、誰にも相談できず家庭内で重いストレスを抱える母親たち。この森では、そんな苦しさから解放され、笑顔が溢れています。この取り組みを行って3年、今後は毎日利用できる新しい森を用意しようと、奔走しています。

文・地区指導力育成委員長 L石濱 喜充(千葉若潮)

7R

市原国府ライオンズクラブ

初めての活動資金獲得事業として
取り組みました

チャリティーお茶の会&ランチ



初めての方でも楽しめるよう工夫をこらしたお茶会

ちょっとひとこと
クラブメンバーの趣味や特技をいかしたアクティビティ。様々な可能性や広がりがありそう。



掛け軸と茶花を愛でる

地域の子どもたちの活動を支援したい！そんな私たちの長年の願いが叶った一日でした。
「茶の湯の初歩の作法を知って一服のお茶を楽しんでもらいたい」と、会長自らがお客様に説明しました。席入りの仕方は、畳にはったテーブルで床の間、点前座へと案内。自席にては空の茶碗を使って、茶の受け方、飲み方、茶碗の返し方を練習。いよいよ本番。亭主の点前を神妙な面持ちで見やりながら、お菓子を頂き、温かな一服を頂きほっとされた感じでした。昼食のそば御膳の豊富なメニューに舌鼓を打ちながら歓談し、主客共に感謝を以って佳日を終えました。

文・市原国府ライオンズクラブ L藤山 陽子

8R

佐倉むらさきライオンズクラブ

小児がんの子どもたちに無償で医療用ウィッグを贈るためのヘアドネーション活動

ヘアドネーション



輪ゴムで結んでカット。ウィッグの素材に



ヘアドネーションに提供された髪の毛



ヘアドネーションの協力者へは感謝状が贈呈される

ちょっとひとこと

小児がんの子どもたちへ、ウィッグを贈るヘアドネーション活動はどの地域でも取り組めるアクティビティ。

佐倉むらさきライオンズクラブでは、小児がんの子どもたちに無償で医療用のウィッグを贈るために、ヘアドネーションの活動をしています。これまでに203名の髪をお預かりし、中には3度目という方もいらっしゃると思います。このヘアドネーションにご協力いただくためにまず、会員が利用している美容室にヘアドネーションの目的と寄贈先、方法、感謝状についての説明資料を持参して訪問するところから始めました。また、会員本人や会員家族からのヘアドネーションの協力もあり、さらには、誰かの役に立ちたいという美容室のスタッフさんの熱意とご協力のおかげで、コロナ禍でも継続することができました。

文・佐倉むらさきライオンズクラブ 会長 L高木 香寿江

8R

四街道ライオンズクラブ

触ったり抱っこしたり
いろいろな動物にふれあえる

ふれあい移動動物園



亀に乗れるかな



太陽さんさん口バとお散歩

やわらかいな。ひよこの毛



ちょっとひとこと
盲学校の生徒たちが、じかに動物にふれることができる貴重な体験を提供。

千葉県立千葉盲学校とは、1975年から落花生掘り、サツマイモ掘りと実際に生徒さんたちが土に触れ収穫をしていました。2002年より「ふれあい移動動物園」を開催いたしております。朝、動物を乗せた車が到着。クラブ員みんなで降ろすの手伝い、サークルの準備をいたします。ひよこ、モルモットはボックスの中に、小動物のウサギ、ヤギ、犬ほかは、サークルの中へ。実際に生徒さんがサークルの中に入り、最初は、こわごわ触り、だんだん動物の動きに合わせて触ったり、抱っこをしたり、動物の感触、温かさを感じ楽しそうな様子。ポニーはみんなで手助けをして、足を籠にかけ鞍に座りグラウンドをゆっくり散歩。大きな陸亀は中庭を歩き、今は、ボールパイソン(ニシキヘビ)も参加しています。
2時間あっという間に過ぎてゆきます。また来年もと約束をして、皆さんは教室に戻られます。2年前、校長先生より「ふれあいを楽しみ、じっくりと生きるものに触れることが生徒の触る、見る力を高めていきます」とのお話をいただきました。今年も10月26日に開催する予定です。

文・四街道ライオンズクラブ L花島 和伸

10R

君津プラチナライオンズクラブ

アフターコロナは
芸能チャリティーショーで元気よく

プラチナ芸能チャリティーショー



地元歌謡大会でグレードが高いと評判なので、全員ピシッとブレザーを着用。ご満足いただけるようプライドを持っておとなし



ちょっとひとこと

大きなステージに立ち歌う醍醐味を届けるカラオケ大会。ほかのクラブでもチャレンジできるアクティビティ。

君津市民文化ホール大ホールでのステージで歌う方は約1000人、それを応援する観客は約1000人が入れ替わり1日をエンジョイします。大勢の方の前で歌う緊張感は格別な体験です。日頃からカラオケ教室に通っている猛者たちが、日頃の鍛錬の成果を応援してくれる招待客の前で歌います。地元内では大変グレードの高い歌謡大会として知られているのか？ 売上げの一部から、青少年育成、少年少女合唱団、アイバンク協会、児童養護施設の支援として寄付金を贈呈しています。
新型コロナウイルス感染症予防のため、3年間実施を見合わせてきましたが、2024年3月に再開を計画しています。

文・10R地区情報テクノロジー委員 L山中 正人 君津プラチナ

11R

南房総ライオンズクラブ

「きれいな海を大切にしたい」
みんなの思いを絵と写真に

きれいな海の絵と写真コンテスト



子どもたちが描いた「きれいな海」の絵。きれいな海を残したいという思いが寄せられました



表彰式で、「南房総ライオンズクラブ賞」を手渡すL白幡厚会長

ちょっとひとこと

小学生のお子様も多数参加してくれるので、家族ぐるみで関心をもっていただけのアクティビティ。

南房総ライオンズクラブでは、定期的にビーチクリーンを実施しているボランティア団体「たてやまビーチクリーンボランティアネットワーク」と連携して絵画と写真のコンテストを実施しています。絵画は小学生を対象に、館山市内の小学校にお願いして作品を寄せていただきました。写真については、写真愛好団体に声をかけ、また地元新聞などで募集記事を掲載していただき公募をしました。第1回にもかかわらず絵画作品は138点、写真は42点の応募がありました。作品は「渚の駅」「たてやま」に展示し、来訪者の投票で賞を決めました。今後も継続して実施する予定です。

文・地区YCE副委員長 L鈴木 ひとみ(南房総)

11R

夷隅ライオンズクラブ

春、菜の花が一面に咲きほこる沿線のどこかに走るローカル鉄道 別名「菜の花列車」 いすみ鉄道沿線「菜の花種まき」活動

いすみ鉄道は、JR外房線大原駅からいすみ市、大多喜町を走り、終点上総中野駅で小湊鉄道と結び、房総半島横断路線を形成するローカル鉄道です。近年では、マスクミ等でも多く取り上げられ、鉄道ファンに人気の観光鉄道であると同時に、地元の人々にとって大切な公共交通機関でもあります。旧国鉄から引き継がれた第三セクターの鉄道路線ですが、その経営は大変厳しい状況が続いています。夷隅ライオンズクラブでは、いすみ鉄道を守りたいとの思いから、いすみ鉄道関係者や地域のボランティアの方とともに種まきを行っています。春になると沿線は菜の花で彩られます。

文・地区GLTコーディネーター L飯島 直也(夷隅)

ちょっとひとこと

心なごみインスタ映えする景観づくり。地域住民に喜ばれるだけでなく、観光客を呼び込み地域活性化にも一役。



線路沿いは満開の菜の花



菜の花種まき終了後で記念撮影(上総中川駅前にて)



電車から綺麗な菜の花が観られるように線路脇で種まき

TOPICS

第59回献血運動推進全国大会

7月26日、千葉ポートアリーナ(千葉市)にて開催
当地区から血液事業用車両を寄贈



寄贈した血液事業用車両の案内の前で



ステージでの目録贈呈セレモニー



カギ型の車両寄贈目録を手渡す北野地区ガバナー

7月26日(水)に日本赤十字社の第59回献血運動推進全国大会が、千葉ポートアリーナで開催されました。人数制限が設けられていた関係で地区からは地区ガバナーL北野淳子をはじめ関係キャビネット構成員10名で参加して参りました。

昨年度、血液事業用車両寄贈のために多くのクラブからのご協賛をいただき、予定通り1台の車両の寄贈式が行われ、北野地区ガバナーより金色の大きなカギが手渡されたことをご報告いたします。

また県内12クラブが各種表彰を受賞されました。コロナウイルスに感染されたとのことで、残念ながら名譽副総裁の秋篠宮妃紀子さまのご参列はありませんでしたが、第2部で佐原唯子や、全国大会で優秀な賞を受賞した県内高校生の合唱や吹奏楽により全国大会に華が添えられました。

地区献血・献血推進・糖尿病委員会

委員長 L伊東英樹

12R

白子ライオンズクラブ

30アールの畑に10万個を育成
タマネギの数だけ笑顔に出会える

タマネギ狩り



収穫に訪れた皆が笑顔に



タマネギ苗の植え付け作業



畑に腰をおろし丁寧に1本ずつ植え付けていく。根気のある作業

ちょっとひとこと

苗の植え付けから、生育管理…膨大な作業をもともせずに取り組むタマネギ栽培。「やればできる」の心意気。

タマネギ狩りは、白子ライオンズクラブのアクティビティ「ホテル鑑賞会」の資金獲得のために始めた事業です。温暖な気候とミネラル豊富な土壌で育てられ、白くて、みずみずしく、生で食べても甘みのある白子生まれのタマネギ。30アールに30000㎡の畑に11月に10万本の苗を植え、5月に収穫。平均年齢70歳のライオンズクラブのおじさん、おばさんたちが、足が痛い腰が痛いと言いながらタマネギの数だけ笑顔に出会えると、頑張っています。大切に育てられたタマネギは、カレーライス、生サラダ、ハンバーグ、最近子ども食堂、フードバンクへも提供されるなどお役に立っています。

文・12R地区情報テクノロジー委員 L井田 勝彦(白子)